

科目ナンバリング		U-LAS60 10003 OJ17										
授業科目名 <英訳>		統合科学・少人数演習付 ：大学で学ぶ YU04 Integrated Liberal Arts and Science with Small Group Seminars :Introduction to University Study YU04					担当者所属 職名・氏名		国際高等教育院 特定教授 楠見 孝 総合生存学館 特定教授 宇佐美 文理 総合研究推進本部 特定教授 沼田 英治			
群	統合科学科目群			分野(分類)	統合科学			使用言語	日本語			
旧群		単位数	4単位	週コマ数	2コマ	授業形態	講義 + 演習 (対面授業科目)					
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	月5・水5		配当学年	全回生	対象学生	全学向			
【授業の概要・目的】												
大学での学びは、高校までの学びの中心であった与えられた知識を獲得するだけではない。大学での学びは、自ら問題を発見し、研究を行い、問題を解決することが重要である。ここでは、テキストやマスメディア、インターネット、生成AIなどの情報をうのみにするのではなく、批判的に思考する必要がある。 本統合型複合科目では、講義において、大学での学びの特徴や重要なスキル、それを支える批判的思考について学ぶ。そして、受講者は下記に紹介する4つの少人数演習のいずれかに参加することによって、講義に関連するテーマを、討論や実習などを通してより深める。さらに、4つの少人数演習の担当者が講義においても、各1回の話題提供を行うことによって、全ての受講生が4つの演習のエッセンスを理解できるようする。 具体的には、講義では、第一に、大学での学びの特徴（1回）を理解し、そのために必要なスキルとしてリテラシー（2回）と、批判的思考を身につけることの重要性（4回）や知識習得と論理的な考え方(7回)を説明し、基本的なスキルを身につける。第二に、質問や発表の仕方(3回)、研究の立案や実施の仕方(5回)、インターネットや生成AIの活用の仕方(6回)、学術書や論文の読み方(8回)、レポートの書き方(10回)について、身につける。第三に、大学の学びにおいては重要な古典を学ぶこと、辞典を批判的に活用すること(9回)、生物分類とことばを考えることについて学び（11回）、文理を融合した思考法を身につける。 そして、上記の講義に関連したテーマについて、4つの少人数演習に分かれて、毎週並行して少人数演習に参加して、講義の内容をさらに深める。 12回、13回には、4つの異なる少人数演習の学生からなるグループに分かれて、合同演習を行う。講義に関連するテーマを自分たちで設定して、講義と演習で学んだことを踏まえて、議論を発展させる。最終回にはその成果を発表し、全体討論を実施して、まとめを行う。 なお、初回のオリエンテーションは、4月9日（水曜5限）に、全員が1つの教室に集まって行うので出席すること。出席できない学生は、録画を公開するので、視聴しておくこと。詳細はKULASIS「全学共通科目」のお知らせを確認すること。												
○統合型複合科目分類 【文・理】 主たる課題について文系分野の要素が強く、副たる課題については理系分野の要素が強いと考えられるもの												
統合科学・少人数演習付：大学で学ぶ YU04(2)へ続く↓↓↓												

[到達目標]

大学で学ぶための土台として、大学の学びの特徴と学問と研究活動の全体像を理解し、大学での学びにおいて重要な批判的な思考を身につけ、読解、質問、研究、ライティング、発表など基本的スキルを着実に身につけることを目指す。

[授業計画と内容]

（この授業では、講義と少人数演習を併せて学びます。講義のみ、少人数演習のみの出席では授業の到達目標に達しません。なお、このシラバスでは共通の講義部分と、少人数演習・D班「文系・理系について考える」（担当：宇佐美・沼田）の授業計画と内容を記します）

講義 月曜5限・共北32

- 第1回 イントロダクション：高校までの学びとの違いとは（楠見）
- 第2回 大学で学ぶとは：アカデミックリテラシーを身につけるには（楠見）
- 第3回 質問と発表のやり方について（佐々木）
- 第4回 批判的思考とは（楠見）
- 第5回 思考モードをシフトする：受動的課題解決から自発的課題発見へ（藤田）
- 第6回 ネット情報を読み解くには：デジタル・メディアリテラシー（楠見）
- 第7回 知識の修得と活用—そのメカニズム（仮）（奥村）
- 第8回 批判的に学術論文を読むには（楠見）
- 第9回 古典学を学ぶとは（仮）（宇佐美）
- 第10回 生物の分類から、言葉を考える（仮）（沼田）
- 第11回 批判的にレポートを書くには（楠見）
- 第12回 合同演習1（4つの演習の学生からなるグループが最終発表に向けて活動）（楠見他）
- 第13回 合同演習2（4つの演習の学生からなるグループが最終発表に向けて活動）（楠見他）
- 第14回 4つの少人数演習の学生からなるグループが最終発表と討論、まとめ（楠見）
- 第15回 フィードバック（楠見）

Key Word: 批判的思考，アカデミックリテラシー，リサーチリテラシー

少人数演習

D班「文系・理系について考える」（担当：宇佐美・沼田） 水曜5限・4共14

人文社会科学・自然科学とは何かを改めて考えるとともに、大学受験までの進路選択としての文系・理系との関係を見直す。そして、将来文系と理系の枠にとらわれずに活躍できる素養を養う。

[授業計画と内容]

- 第1回 履修者が、自己紹介とともに文系あるいは理系に進んだ理由や経緯を話し、進路選択のり方について議論する。
- 第2回 担当教員が、文系あるいは理系に進んだ理由や経緯を話し、進路選択の在り方について議論する。
- 第3回 人文社会科学のうちで特に哲学の歴史的な成り立ちについて担当教員が紹介し、質疑応答を行う。
- 第4回 自然科学のうちで特に生物学の歴史的な成り立ちについて担当教員が紹介し、質疑応答を行う。
- 第5～10回 担当教員が用意した課題について議論を行う。文理融合的な分野で活躍するゲストを招くこともある。
- 第11～13回 これまでの履修内容を参考に、それぞれの履修者の考える文系および理系の学問について発表し、質疑応答を行う。
- 第14回 全体を振り返り、文系と理系について総合的な討論を行う。
- 第15回 フィードバック

統合科学・少人数演習付：大学で学ぶ YU04(3)

【履修要件】

特になし。特別な予備知識は必要とせず，文系・理系を問わず全学部生向けに授業を行う。

【成績評価の方法・観点】

14回の授業での平常点（出席と参加の状況など）と最終発表で評価を行う。各評価項目の割合の詳細は，初回の授業で説明する。フィードバック授業は評価の対象外である。

【教科書】

Lesley-Jane Eales-Reynolds 他 楠見孝, 田中優子 訳 『大学生のためのクリティカルシンキング: 学びの基礎から教える実践へ』（北大路書房）（ISBN 4762830887 978-4762830884）

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

教科書，授業資料の要点を予習・復習する。

【その他（オフィスアワー等）】

授業で学んだことを，大学での学び全体に活かして実践して，振り返ることを期待する。

【主要授業科目（学部・学科名）】